

「セラピストと利用者様の意識のズレ」について研究協力をお願い

【研究目的】

訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションでは入院時とは異なり、高頻度での介入は困難で、限られた時間、人員でサービス提供を実施しています。この生活期において、効率的にサービスを提供していくためには、利用者様が主体的に取り組んで頂く必要があります。しかし、現状では受動的なリハビリ希望が多いように感じます。その意識のズレをアンケート調査により現状認識し、打開策を検討したいと思います。

【対象】

過去、入院時にリハビリテーションを受けておられ、現在、訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションを受けられている方を対象

【方法】

対象患者に対して、入院時のリハビリテーション、生活期のリハビリテーションのイメージなどをアンケート形式で聴取

【研究期間】

2019年10月～2019年12月

【個人情報について】

氏名、診断名は公表せず、単純に入院時のリハビリテーション経験があり、現在、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションを利用されている方を対象とし、かつ、アンケート内容を理解して頂き、同意が得られた症例のみとする。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の9時から17時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

【研究代表者】

診療部医師 臼井大介

リハビリテーション部 理学療法士 池内 昭友

【代表者連絡先】

電話番号：0887-38-7111